

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、平素より何かと大変お世話になっておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

現在、コロナ禍にあっても町民の皆様方のご理解とご協力により、里庄町内の幼稚園、小学校、中学校では、教育活動を進めることができています。合わせて、社会教育・体育施設利用の再開もできています。そのような中、令和3年度の里庄町の教育行政の推進につきましては、「希望を持ち、豊かな心を育むまち」を基本目標として取り組んでいます。里庄町の次代を担う人づくりを推進するためには、学校、家庭、地域が一体となって取り組むことが大切です。また、大人も子どもも夢や目標に向かって、いきいきと生活できるように、地域に根ざした、文化、芸術、スポーツ等を生涯にわたって学び、楽しむことができる環境づくりを進めてまいります。

町民の皆様方の今後とものご支援・ご協力をお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

令和3年度 里庄町の教育目標

「希望を持ち、豊かな心を育むまち」

1 生きる力を育む学校教育の推進

○学校教育「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

- ・認めること
- ・非認知能力の育成（3シヨンプログラム～「里庄」の力～）
- ・学校給食
- ・GIGAスクール

○家庭教育（認めること、基本的な生活習慣、しつけ、あいさつ、家庭学習）

○地域の人々との連携(コミュニティスクールの推進)

あいさつ、落ち着いた集団の確立、主体性の育成、授業改善、基礎・基本の徹底、言語活動の充実による表現力の育成（論理的に書く力、コミュニケーション力）

2 心豊かで生きがいを育む生涯学習の振興

- ・主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に活かしていくことができる「生涯学習によるまちづくり」の実現
- ・豊かな地域づくりに反映される生涯学習の推進

3 やすらぎとうるおいを感じる芸術・文化の振興・歴史の保存

- ・総合文化ホール等の各施設の文化活動を充実
- ・郷土に対する理解や愛着を深め、豊かな感性や心の育ちを促進するシビックプライドの醸成
- ・世代を超えての各種文化活動や町民の文化遺産保護意識の高揚

4 生涯にわたるスポーツ活動の振興

- ・各種スポーツ活動の振興
- ・スポーツ指導者の養成・確保

5 異なる国や地域・人との交流活動の推進

- ・幼稚園、小、中学校における、国際理解教育、英語活動の推進
- ・国際感覚を養う機会を提供し、多文化共生社会の実現を推進



小・中学校ではGIGAスクール構想の取組が始まりました。

町立の小・中学校では、今年度の4月からGIGAスクール構想推進に伴う、1人1台端末の使用が始まりました。子どもたちに「情報活用能力」を養い、新学習指導要領で求められる資質・能力を身につけることができるように、取組を進めていきます。

保護者のみなさまへ

里庄町教育委員会事務局

里庄町のGIGAスクール

～「主体的・対話的で深い学び」の推進に向けて～

里庄町では、文部科学省が示すGIGAスクール構想を受け、町立小・中学校の全児童・生徒に1人1台のタブレット端末を貸与いたします。タブレット端末は、まず、学校での活用を中心に進めていきます。学校で活用が進んだ後には、家庭での活用も視野に入れ、子どもたちの学びを充実していきます。保護者の皆様におかれましては端末の正しい利用や管理等について、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

文部科学省のGIGAスクール構想は、コチラ↓



1人1台のタブレット端末を活用して「主体的・対話的で深い学び」を推進

教師中心の授業から児童・生徒中心の授業へ



教師が教える



児童・生徒が学ぶ



1人1台端末の活用



教科書

ノート
えんぴつ



タブレット端末

期待する効果

- 新しい時代に児童・生徒が備えるべき資質・能力の育成**
「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育成
- 個別最適な学びによる基礎学力の向上**
一人一人の能力・適性や学習の習熟度に合わせた指導の推進
- 情報活用能力の育成**
問題を解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、問題解決へと導く情報活用能力を育成

1人1台タブレット端末の活用で、児童・生徒の学びが大きく変わります！！

学校での活用

✓ 教科書や文房具と同様に、インプットやアウトプットをする道具として活用



調べる



撮る



記録する



考えを深める



表現する



参照する

✓ 個々の思考の共有や共同での作品制作



グループや学級での発表、話し合い



グループでの分担、共同での制作

✓ 個別最適な学びや自学自習の充実



デジタルドリル等を活用し、苦手分野を反復学習

家庭での活用



デジタルドリル等の活用(宿題・自主学習)



臨時休校や登校制限時のオンライン授業

豊かでたくましい里見っ子の育成をめざして

里庄東小学校・東幼稚園長 松原 修

里庄東小学校は、本年度全児童292名、全14学級でスタートしました。落ち着いた学習環境と学習集団を基盤とし、学校目標の具現化に向かって教育を進めています。

具体的には「よく学ぶ子」「くじけない子」「おもいやる子」をめざす児童像とし、明るく前向きでやる気に満ちた児童が集う学校をめざしています。重点的な取組は次の通りです。

(1)よく学ぶ子

- 主体的学習意欲を高める。 ○基礎学力の定着を図る。
- 表現力の向上を図る。

(2)くじけない子

- 自ら進んで体力向上や健康増進を図ろうとする態度を養う。
- 目標をもち、最後までやり抜こうとする態度を養う。

(3)おもいやる子

- 自己肯定感を高める。
- 他の人を大切にする言動を心がける児童及び集団に高める。



タブレット端末で学ぶ子どもたち



幼稚園イモの苗植え

東幼稚園は、年少りす組・年長くま組合わせて41名です。主体的に遊ぶことを通して、「元気な子」「やさしい子」「がんばる子」「考える子」を育てていきます。幼稚園・小学校ともに、保護者や地域の皆様の温かいご支援と見守りをいただきながら、「心豊かでたくましい里見っ子」の育成と、安全・安心で信頼される学校園の創造を目指します。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

スマートフォン・ゲームの適切な利用についてのお願い

子どもたちが、スマートフォンやゲームを長時間する中で、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースが、大きな問題となっています。また、健康面の心配や学習時間の減少も指摘されています。里庄町では、統一ルールとして、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。



ルール作りは保護者の責任です。その責任を果たすことが、子どもを守ることに繋がります。保護者の責務として、家庭内のルール作りをお願いします。ご家庭で、お子様としっかり話し合っ、子どもも納得するルール作りを進めてください。

※各家庭での徹底をお願いいたします。

指導主事 天野 正彦

教育相談日のお知らせ

日時 毎週 月曜日・火曜日・水曜日
午前9:00~12:00 午後1:00~5:00
場所 「里庄むつみ会館」(里庄町大字里見1004番地)



お子様の学習や発達障害等について、相談を希望される方は、教育委員会事務局 ☎(0865) 64-7212 までご連絡をお願いします。(ご希望日時が重なった場合、調整させていただきます。)

担当者 教育相談員 栗尾康子

里西っ子の「生きる力」を育てる

里庄西小学校・西幼稚園長 柚木 康男

本年度、里庄西小学校は全校児童378人、全16学級でスタートしました。「切磋琢磨」の校訓と教育目標「里西っ子の生きる力を育てる」のもと、「めざす子ども像」の「よく考え進んで学ぶ子ども」「仲良く助け合う子ども」「明るく元気な子ども」の3つを目指します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を行い、子どもたちのよさや頑張りを確かに認め、自己肯定感を育む教育を進めます。重点としている具体的な取組は次の通りです。

(1) よく考え進んで学ぶ子ども (知)

- 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じる魅力ある授業づくり
- 基礎・基本の徹底
- 学習規律の徹底
- 伝え合う活動の充実で表現力を育成
- 意欲的に進める家庭学習の充実

(2) 仲良く助け合う子ども (徳)

- 認めて伸ばし自己肯定感を育む学習指導・学校行事
- 人・時間・協働を大切にする生徒指導
- 道徳指導の充実

(3) 明るく元気な子ども (体)

- 体力づくりの推進と健康安全の強化
- 基本的な生活習慣の確立
- 食育の推進



タブレットを使った授業

西幼稚園は、年少ちゅうりっぷ組・年長すみれ組合わせて園児数33名でスタートしました。小学校と一貫した教育目標を設定し、遊びを通して「意欲をもってがんばる子」「思いやりのある子」「元気な子」を育てます。本年度も、保護者、地域、町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、心豊かで、たくましい里西っ子を育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



幼稚園ひまわりの種まき

自ら学ぶ生徒の育成を目指して

里庄中学校長 池田敬治

令和3年度は、1年生92名、2年生103名、3年生100名の計295名、11学級でスタートしています。昨年度に引き続き、コロナ禍の中ではありますが、生徒たちは現況の中で精一杯、できることにチャレンジし、元気に学校生活を送っています。

学校教育目標「心豊かに自ら学ぶ生徒の育成」のもと、主体的・対話的で深い学びを推進する「魅力ある授業づくり」、生徒の非認知能力の向上を目指すことによる「自己肯定感を高める集団づくり」、ホームページなどの情報発信による「家庭・地域との連携強化」を目指します。

また、文部科学省が示すGIGAスクール構想を受け、里庄町でも1人1台のタブレット端末の使用が始まっています。活用場面を少しずつ増やしなが、新しい時代に向けた生徒が備えるべき資質や能力の育成につなげていきたいと思ひます。

本年度も、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、伝統ある里庄中学校を発展させていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。



1年生福山研修



タブレットを使った授業